

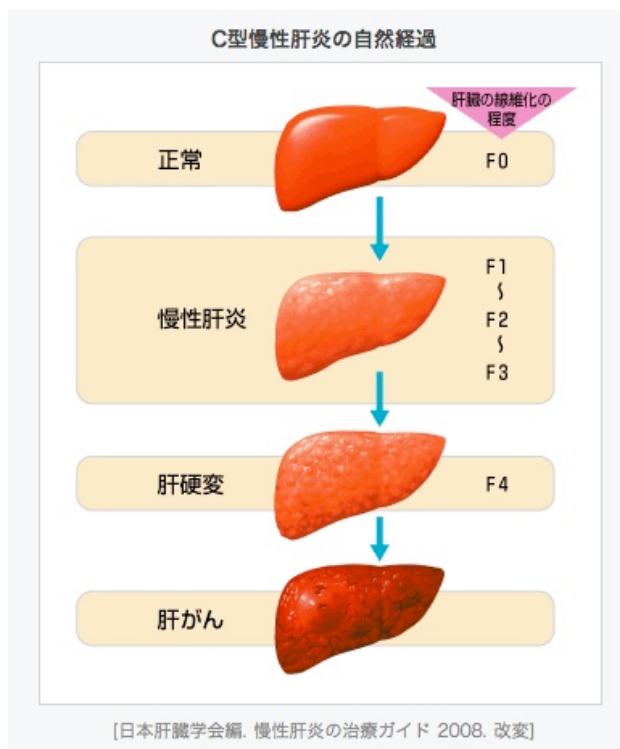
## C型肝炎の新規診断法や新規治療法を開発するためのゲノム

### ワイド関連解析の手法を用いた宿主因子の解析に関する研究

#### ・はじめに

C型肝炎ウイルス感染と肝病態の関係における、宿主の遺伝子の解析はまだ不明な点が多く、多くの症例を集め研究を続ける必要があります。このような研究の成果は今後の医学の発展に寄与するもので、その結果、将来、肝細胞癌の診断や予防・治療などがより効果的に行われるようになる可能性が期待されます。

C型肝炎ウイルスが原因で発症するC型肝炎は、慢性化することで肝機能障害を引き起こし、肝癌を起こすことがある疾患です。このように宿主（ヒト）の病態に大きく差が生じる原因はいまだ明解な解答は得られていないのが実状です。ウイルス側の要因と感染した宿主の要因が大きく関与することが予測され、近年その宿主側の要因として注目されているのが宿主の遺伝子の関与であります。今回は、C型肝炎ウイルスに関する宿主の遺伝子と肝病態との関連性を明らかにするために、多施設共同研究を行いたいと考えております。



#### ・対象

九州大学病院 消化器・総合外科(第2外科)において、平成元年1月1日～平成25年3月31日までにC型肝炎ウイルス感染陽性の肝癌の診断で肝生検または肝切除術を受けられた方の切除標本ないし採取した血液のうち、約20名を対象に致します。

対象者となることを希望されない方は、下記連絡先までご連絡下さい。

#### ・研究内容

当科で肝生検あるいは肝切除された切除標本やその際に採取した血液を使って、遺伝子の発現を調べます。この結果と患者さんの背景を比較し、肝炎ウイルス存在下において発癌と遺伝子の違いがどう関わっているのか、考察します。

この研究を行うことで患者さんに日常診療以外の余分な負担が生じることはありません。

#### ・個人情報の管理について

個人情報漏洩を防ぐため、九州大学大学院医学研究院消化器・総合外科学分野においては、個人を特定できる情報を削除し、データのデジタル化、データファイルの暗号化などの厳格な対策を取り、第三者が個人情報を閲覧することができないようにしております。

また、本研究の実施過程及びその結果の公表（学会や論文等）の際には、患者さんを特定できる情報は一切含まれません。

試料送付先:名古屋市立大学大学院医学研究科 ウイルス学

〒467-8601 名古屋市瑞穂区瑞穂町川澄1

TEL:052-853-8191

FAX:052-842-0021

担当者:田中 靖人

#### ・研究期間

研究を行う期間は承認日より 28 年 3 月 31 日まで

#### ・医学上の貢献

本研究により被験者となった患者さんが直接受けることができる利益はありませんが、将来研究成果は肝癌の発症機序の解明及び新しい治療法の発見の一助になり、多くの患者さんの治療と健康に貢献できる可能性が高いと考えます。

#### ・研究機関

九州大学大学院消化器総合外科学分野

教授 前原 喜彦 (責任者)

准教授 調 憲

大学院生 木村 光一

連絡先: 〒812-8582

福岡市東区馬出 3-1-1

Tel : 092-642-5479(消化器・総合外科外来) (平日 8:30~17:00)

092-642-5473(消化器・総合外科病棟) (夜間・休日)

担当 : 木村 光一

共同研究施設 : 名古屋市立大学大学院医学研究科ウイルス学分野、田中靖人

東京大学大学院医学系研究科、徳永 勝士

金沢大学医薬保健研究域保健学系、本多 政夫

武蔵野赤十字病院肝臓病学、黒崎 雅之

山形大学医学部消化器内科学、渡辺 久剛

徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部消化器・

移植外科学肝臓外科学、宇都宮 徹

横浜市立大学附属病院消化器内科、中島 淳

東北大学病院 消化器内科、近藤 泰輝

北海道大学大学院医学研究科、中馬 誠

長崎医療センター、八橋 弘

(以下、研究協力施設、倫理審査有)

久留米大学 (井出 達也)、岡山大学大学 (山本 和秀)、

大阪医療センター (三田 英治)、兵庫医科大学 (西口 修平)、

鳥取大 (村脇 義和)、川崎医大 (日野 啓輔)、

愛媛大 (日浅 陽一)、埼玉医大 (持田 智)、

国立がん研究センター (津金 昌一郎)、

大阪市立大 (田守 昭博)、手稲溪仁会病院 (姜 貞憲)